

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : デュライン SJ (粉材)
会社名 : YAMAKIN株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 3 番 7 号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

- ・皮膚感作性 : 区分 1
- ・皮膚腐食性／刺激性 : 区分 3

環境有害性

- ・水生環境急性毒性短
期 (急性) : 区分 2

ラベル要素

- ・表示 :



- ・注意喚起語 : 警告
- ・危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に毒性

注意書き

- ・安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん、ヒュームの吸入をしないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・応急措置 : 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息
させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激性が生
じた場合は、医師の診察、手当を受けること。汚染された衣類を脱
ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄

を続けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。飲み込んだ場合、気分が悪いときは毒物センター、医師に連絡する。

- ・保管 : 容器を密閉して火気、直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。
- ・廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成及び成分情報】

単一製品・混合の区別 : 混合物
成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有率 wt%	CAS No.
メタクリル酸エステル系共重合物	非公開	≥90	非公開
過酸化ベンゾイル	C ₁₄ H ₁₀ O ₄	1~10	94-36-0
紫外線吸収剤	非公開	1~10	非公開

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察および手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合には医師の診察および手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合には医師の診察および手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、口中をよく洗うこと。気分が悪いときは、医師の診察および手当を受けること。

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 水噴霧、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 火災によっては強い熱、黒煙、及び毒性のガス（二酸化炭素、一酸化炭素）が発生する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

- 容器が熱に晒されているときは、移さない。
消火作業は可能な限り風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。
-

【6. 漏出時の措置】

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項 : 周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
- ・封じ込め及び浄化の方法／機材 : できるだけ飛散しないようにして、空容器等に回収する。
取扱い場所の近傍での飲食の禁止。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。
- ・二次災害の防止策 : データなし

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- ・技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 - ・局所排気／全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
 - ・接触回避 : 常温で発火、爆発のおそれはないが、粉塵爆発を起こす危険性があるため、炎、火花または高温体との接触を避ける。
 - ・安全取扱注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
換気の良い場所でのみ使用すること。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を行わないこと。
静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行うこと。
- 保管
- ・技術的対策 : 保管場所には、本製品を貯蔵及び取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 - ・保管条件 : 強塩基剤、還元性物質から離して保管すること。
換気のよい場所で容器を密閉し、高温、直射日光を避けて保管すること。
 - ・容器包装材料 : データなし
-

【8. ばく露防止及び保護措置】

管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2025年版) 許容濃度 mg/m ³	ACGIH (2025年版) 許容濃度 mg/m ³
メタクリル酸エステル系共重合物	非公開	2 (R) 8 (T)	10 (TLV-TWA)
過酸化ベンゾイル	C ₁₄ H ₁₀ O ₄	—	5 (TLV-TWA)
紫外線吸収剤	非公開	—	—

R : 吸入性粉塵、T : 総粉塵

設備対策 : 空気中の濃度を奨励された許容濃度以下に保つために、局所排気装置、手洗い・洗顔設備及びその他の設備対策を使用する。
粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

保護具

- ・呼吸器の保護具 : 粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
 - ・手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
 - ・眼の保護具 : 適切な保護眼鏡、顔面保護具を着用すること。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

- ・物理状態 : 固体(粉末)
- ・色 : 白色～淡黄色
- ・臭い : データなし
- ・融点/凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び上限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : データなし
- ・動粘性率 : データなし

- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・密度及び/又は相対密度 : データなし
- ・相対ガス密度 : データなし
- ・粒子特性 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 安定性・反応性 | : 通常の条件では安定である。 |
| 危険有害反応の可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : 高温、多湿、直射日光、炎、火花、静電気、スパーク |
| 混触危険物質 | : 可燃性物質、強塩基、還元性物質、強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | : 炭素酸化物（二酸化炭素、一酸化炭素）、安息香酸など |
-

【11. 有害性情報】

- | | |
|-----------------|---|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性／刺激性 | : 過酸化ベンゾイルは区分 2 であるが、混合物の成分に基づく分類（加算式）による計算の結果、混合物の成分が 10 % 以下であるため、非該当とした。 |
| 呼吸器感作性または皮膚感作性 | : 過酸化ベンゾイルが皮膚感作性 区分 1 であり、1.0 % 以上含まれるため、区分 1 とした。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : 紫外線吸剤が皮膚腐食性／刺激性 区分 2 であり、1.0 % 以上 10 % 以下含まれるため、区分 3 とした。 |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 | |
| 単回ばく露 | : データなし |
| 反復ばく露 | : データなし |
| 誤えん有害性 | : データなし |
-

【12. 環境影響情報】

- | | |
|-----------|---|
| 生態毒性 | : 水生環境有害性 短期（急性）：過酸化ベンゾイルは短期（急性）区分 1 で 48 時間 EC50（甲殻類）0.07 mg/L である。混合物の成分に基づく分類（加算式）による計算の結果 1 mg/L < 48 時間 EC50（甲殻類） \leq 10 mg/L であるため、短期（急性）区分 2 とした。 |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : データなし |
| オゾン層への有害性 | : データなし |

【13. 廃棄上の注意】

環境上望ましい廃棄又はリサイクルに関する情報

- ・残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
- ・汚染容器及び包装 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

- ・海上輸送 : IMO の規制に従う。
- ・航空輸送 : ICAO/IATA の規制に従う。
- ・国連分類 : 該当しない

国内規制

- ・陸上輸送 : 消防法の規程に従う。
- ・海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
- ・航空輸送 : 航空法の規定に従う。

安全対策

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 該当しない

消防法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない

特定化学物質の環境への

排出量の把握等及び管

理の改善の促進に関する法
律

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

大気汚染防止法 : 該当しない

船舶安全法および貯蔵規
則

航空法 : 該当しない

港則法 : 該当しない

じん肺法 : 該当しない

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであり特別の取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。

また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2025 年度)
- ・ACGIH-TLVs and BEIs (2025)

【改訂履歴】

01 2025 年 10 月 21 日 初版